

卒業生による 講演会

○中一対象 平成二十一年十一月一日(水)
 (株)テルミニソリューションズ
 代表取締役

山本光平氏 (七期生)

道德教育の一貫として、今年度は山本光平氏講演会を行つた。

山本氏は本校の卒業生で、ヤマハ発動機に入社、その後実業を継ぐ傍ら、様々な分野で活躍されている。ヤマハ発動機に勤務している頃は、情報共有による新しい販売方法を確立し、全国最優秀の営業として表彰され、また趣味のカジキ釣りでも日本有数の実績を認められている。山本氏の講演は、彼の経験談の面白さもさることながら、つる道で二流を目指す姿勢や考え方が、生徒たちの心に響いたのではないかと思われる。

(林) ○高一対象 平成二十一年九月二十一日(水)
 半蔵門総合法律事務所 弁護士
 岩田拓朗氏 (十期生)

講師は弁護士としてだけでなく大学でも教鞭をとられるなど、多方において活躍されています。

キャリア教育の一環であるこの講演では、「議論の仕方」、生産的な議論を行うはどういうことかを、様々な視点からとらえ、将来生徒諸君が対応していくべきならない様々な状況下においてどのように議論することが大切かを、話して頂きました。非常に興味深く、ためになる講演であったと思います。(森脇)

○高一対象 平成二十一年六月十九日(土)

達成感だけではない。時には涙ぐみ、時には悔しさを滲ませる。でも、後輩への眼差しは暖か。

「高一は遊べ」。苦笑。けど、待つよ。受験に浸るほど切羽詰ってない。じゃあ、多少余裕ある分、自分の興味の赴くところを探してみても、そういうことか。

「やりたいことをやれ」。苦手科目が立ちはだかるうが、あきらめるな。克服か、他でカバーカ。でも、成るようにしか成らん!?



神戸大 法学部1年
 大北村千晴さん (43期)

まだ高校一年の皆さんにとって自分の進路を決定するのは難しいと思います。今は焦つて進路を決めようとはせず、いろいろな人の話を聞いたり、少しでも興味のあることにはどんどん挑戦してみたりしてくださいます。そうすればきっと後悔することのない選択ができると思います。皆さんが目標を達成できるよう、応援しています。

飾らない言葉が胸を打つ。

(勝部康)

京都大 工学部1年
 廣常怜子さん (43期)

進路というと大層な感じがしますが、私は「化学が好き。かつ物づくりがしたい」それだけで工学部を選んでいました。数学は大の苦手でした。それでも基礎を固めていたら、結果はなるようになりました。だから、

さて講演ですが、校長先生による開会の挨拶の後、その力量に感嘆しきりでした。

●中二対象 平成22年7月9日実施
 ○吉井昌彦神戸大学大学院教授
 EUの歴史と現在、いわゆる
 深化と拡大について

●中二対象 平成22年7月9日実施
 ○ルディ・フィロン
 駐日EU代表部広報部長
 EUの様々な活動の成果と
 環境保護や少子化対策など
 今後の課題について

●中二対象 平成22年7月9日実施
 ○ティモシー・ハーディング
 ジュネーブ大学名譽教授
 キャリア教育

せて下さい。真摯に自分と向き合えば、自ずと「今やるべきこと」が見えてくると思います。

●高一対象

EUシンポジウム

欧州人権裁判所による、囚人に對する拷問禁止命令など人権擁護の取り組みについて

二月二十三日5・6限を使つて高校二年生に「EUの専門家からEUと日本の関係を学ぼう」と題するシンポジウムが行われました。主催は、関西におけるEU関連の研究と広報の拠点EUIJ(インスティテュート・イン・ジャパン)関西。神戸大学・大阪大学・関西学院大学が、EU委員会と提携して設立した団体です。今まで社会人や大学生相手には何度も講演を行なつてきましたが、高校生には今回が初めて。その第一号に本校が選ばれたことに、大変誇りを感じます。二週間程前に校長先生の事前授業を受け、いよいよ臨んだ当日、生徒全員がレシバーを着用。サイマル・インターナショナルの方の英語通訳を聞くこと

が出来、「さすが語学のプロ」と、その力量に感嘆しきりでした。そこで講演ですが、校長先生によると締めくられました。それを教えてくれたのが世界におけるEUの存在意義である思想・文化を持った人をも受け容れていく、それが教えてくれたのが世界におけるEUの存在意義であると締めくられました。

私の杞憂に反して、多くの生徒の手が上がり、後で感心されるほども発言しなければどうしようとの的確な質問をしてくれました。

また何人かの生徒が寄せてくれた感想文にも、礼讃だけでは無い、バランスのとれた疑問も書かれており、まことに頼もしく、嬉しく感じた次第です。数か月にわたる準備の末、生徒達に得難い機会を与えて下さいました関係諸団体・諸先生方に厚く御礼申し上げます。

